

# 切除不能大腸癌

# IRIS療法レジメン

切除不能大腸癌 TS-1+イリノテカン療法

C-18 <21日間隔 × PDまで>

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6~14日目	第15日目	第16~21日目
治療内容									
検査	採血	○							
診療	副作用の問診	○							
	検査結果	○							
治療中止基準	①WBC 3000/mm <sup>3</sup> 未満 (好中球1500/mm <sup>3</sup> 未満) ②血小板 10万/mm <sup>3</sup> 未満 ③PS 2以上	—	—	—	—	—	—	—	—
内服薬	TS-1 初回量 (80mg/m <sup>2</sup> /day) 1回40mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後 【2週間投与し1週間休薬】	↓ 夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝・夕食後	↓ 朝食後	休
点滴	①生食100ml +アロカリス 235mg 1V +パロノセトロン0.75mg 1V +デキサート3.3mg × 2A 点滴静注【30分】	↓							
	②生食500mL イリノテカン塩酸塩 (150mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【90分以上かけて】	↓							
	③生食50mL 点滴静注【ルートフラッシュ】	↓							

TS-1: TS-1の服用をday1の朝食後にできない場合は、夕食後から内服を開始してもよい。ただし、その場合はd朝食後まで内服を行う。

### 看護のPoint!!

イリノテカンの特徴的な副作用は下痢。投与中～直後の早発型と、投与24時間以降の遅発型。ロペミンなどで対処  
骨髄抑制と吐き気、脱毛の可能性あり。

イリノテカンは90分以上かければ大丈夫

TS-1で口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告 (TS-1との相互作用あり)

第22日目
○
○
○
-
↓ 夕 食後
↓
↓
↓

lay15の